

世 界 史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。 (50点)

中世の西ヨーロッパでは、政治と宗教、つまり国王（皇帝）権力とキリスト教会は、分かちがたく結びついていた。既にローマ帝国でも、キリスト教は313年に（ a ）帝によって公認され、さらに4世紀末に（ b ）帝によって国教化されるなど、政治権力と結びついていたが、その伝統は、ゲルマン諸国にも引き継がれたのである。

フランク人の有力家系であるメロヴィング家出身の（ c ）は、フランク人を統一して王国を築き、ゲルマン人の間で支持を得ていた（ d ）派ではなく、キリスト教の正統とされていた（ e ）派に改宗したことで、ローマ系住民の支持を獲得した。その後、メロヴィング家が権力闘争などで衰えると、実権は重臣のカロリング家に移るが、カロリング家の（ f ）は、イベリア半島から北上して侵攻してきたイスラーム勢力の（ g ）朝の軍を撃退したことで、キリスト教世界の守護者として声望を高めた。彼の後を継いだ息子のピピン3世（小ピピン）は、使徒（ h ）の後継者を自任するローマ教皇に接近し、751年には時のローマ教皇の支持を得て王位につき、カロリング朝を開いた。

その息子のカールは、教皇と対立していた北イタリアの（ i ）王国を滅ぼし、西ヨーロッパの中心部を統一した。さらに、イベリア半島の（ j ）朝や東方の（ k ）人など、キリスト教圏に侵入する異民族と戦い、800年には教皇（ l ）からローマ皇帝の帝冠を受け、西ローマ帝国を受け継ぐキリスト教圏の保護者・支配者となった。このように、西ヨーロッパの中心的な権力であったフランク王国は、キリスト教会と密接な関係を保ちながら成長したのである。

カールは内政面でも、各地に配置した司教や修道院を支配の拠点とした。文化面でも、イングランドから招いた（ m ）などの学者たちを用いて、ラテン語や神学などの学芸を奨励した。ビザンツ帝国との関係が悪化し、新たな政治的後盾を必要としていたローマ教皇にとっても、フランク国王の支持は欠かせない

ものであった。

フランク王国が分裂した後も、東フランク王国では、新たにザクセン家出身の国王⁽⁷⁾（ n ）が、（ o ）人のキリスト教圏への攻撃をレヒフェルトで撃退して威信を高め、またイタリアに遠征しローマ教皇を支援して、962年には教皇からローマ皇帝の帝冠を授けられた。この結果成立した⁽⁴⁾神聖ローマ帝国は、19世紀まで存続することとなる。このような教会と政治権力の結びつきは、11世紀のグレゴリウス改革や16世紀の宗教改革などで変化を余儀なくされるが、17世紀にも⁽²⁾王権神授説が唱えられるなど、西ヨーロッパの政治思想に長く影響を与え続けた。

設問1 文中の空欄（ a ）～（ o ）に最も適切な語句を次の語群から一つずつ選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. アヴァール | 2. アウグスティヌス | 3. アウグストゥス |
| 4. アタナシウス | 5. アッパース | 6. アラブ |
| 7. アリウス | 8. アルクイン | 9. アルビジョワ |
| 10. アルフレッド | 11. ヴァンダル | 12. ウィリアム1世 |
| 13. ウマイヤ | 14. ウルバヌス2世 | 15. エラスムス |
| 16. オットー1世 | 17. オドアケル | 18. カール＝マルテル |
| 19. クヌート（カヌート） | | 20. グレゴリウス7世 |
| 21. クローヴィス | 22. 後ウマイヤ | 23. コンスタンティヌス |
| 24. シュメール | 25. セルジューク | 26. 単性論 |
| 27. デイオクレティアヌス | | 28. テオドシウス |
| 29. トラヤヌス | 30. 西ゴート | 31. ネストリウス |
| 32. ノルマン | 33. パウロ | 34. ハドリアヌス |
| 35. ファーティマ | 36. フス | 37. ブワイフ |
| 38. フン | 39. ペテロ | 40. マジャーール |
| 41. ユーグ＝カペー | 42. ユスティニアヌス | 43. ヨハネ |
| 44. ランゴバルド | 45. レオ3世 | |

設問2 下線部(ア)・(イ)に関する次の問いに対する答えを、解答欄I-Bに記入しなさい。

(ア) ビザンツ帝国の文化に関する下記の文から、誤っているものを1つ選び、番号で答えなさい。

1. ユスティニアヌス大帝は、プリニウスらに、ローマ法の集大成である『ローマ法大全』を編纂させた。
2. コンスタンティノーブルのハギア=ソフィア（聖ソフィア）大聖堂は、ビザンツ様式の代表的な建築である。
3. スラヴ人への布教のためにキリル文字が考案された。
4. オスマン帝国の脅威を避けて、ビザンツ帝国から多くの学者がイタリアに亡命し、古典研究の振興に影響を与えた。

(イ) 神聖ローマ帝国に関する下記の出来事A～Cを、時代が古い順に並べたものを選び、番号で答えなさい。

- A. 皇帝カール4世が金印勅書を発布した。
- B. 農奴制の廃止などを求めて、ドイツ農民戦争が行われた。
- C. 皇帝ハインリヒ4世が、教皇グレゴリウス7世と争った。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. A→B→C | 2. A→C→B | 3. B→A→C |
| 4. B→C→A | 5. C→A→B | 6. C→B→A |

設問3 下線部(あ)～(え)に関する次の問いに対する答えを、解答欄I－Cに記入しなさい。

- (あ) 6世紀前半、イタリアのモンテ＝カッシーノ（モンテ＝カシノ）に、労働と祈りの厳格な規律を持ち、後の西欧の修道制に大きな影響を与える修道院を建設した人物の名前を答えなさい。
- (い) キリスト教の布教の方法に対する意見の違いが、ローマ教会とビザンツ帝国の関係が悪化した理由の一つであった。726年にビザンツ皇帝レオン3世が出した、布教の方法に関する法令の名称を答えなさい。
- (う) 843年のヴェルダン条約で、後にイタリア王国となる中部フランクの国王となった人物の名前を答えなさい。
- (え) スチュアート朝を開き、王権神授説を唱えたイングランド王の名前を答えなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

(50点)

東南アジアには前1000年紀までに稲作が伝わっていた。稲作の発展を基礎として、北部ベトナムでは中国の青銅器文化の影響を受けた (a) 文化とよばれる金属器文化が生まれた。この文化独特の青銅器で、支配者の権威のシンボルとして用いられたとされる (b) は中国南部から東南アジアの広い地域で発見されており、当時から広い範囲で活発な交易が行われたことを示している。

前3世紀以降、北部ベトナムは中国の国家に支配された。前221年に中国を統一した秦の始皇帝は南海郡など三郡を設置し、その支配領域は北部ベトナムにまで達した。秦の滅亡に乗じて、中国の広東・広西からベトナム北部にかけての地域に独立したのが (c) である。前2世紀なかばには (c) の都にアフリカの象牙や東南アジア特産の香薬がもたらされており、このころすでに東西交易の「ア」が機能していたことがわかる。

前2世紀末、漢の武帝は (c) を滅ぼし、ベトナム中部にまで領土を広げた。(c) の旧領土のうち、ベトナム北部に (d) 郡を、ベトナム中部には (e) 郡をそれぞれ設置して南海交易の拠点とした。2世紀なかばには、インド・ローマ交易の隆盛を背景にローマ皇帝の使節を名のる者が (e) 郡に到達している。

5世紀に入り、中国で南朝が繁栄すると、香辛料などの南海の物産の需要が増大した。東南アジアには東西の国際市場と連動した「イ」の交易網が形成され、漢字や儒教などの中国文化がベトナム北部に伝わった。

6世紀末、隋の文帝(楊堅)は南朝の陳を滅ぼして南北を統一した。隋とそれにつづく唐の時代、中国では華北で長安や洛陽などの諸都市が繁栄し、華中・華南の開発も進んだ。隋の時代に整備された大運河は華北の陸のルートと華中・華南の海のルートを結びつけた。イスラーム世界でも、750年に開かれた (f) のもと、その首都バグダードをはじめとする都市文明が発展し、9世紀にかけて東西両世界の都市の需要にこたえる形で「ア」を通じた交易が活況を呈した。唐は広州に「ウ」をおくとともに、ベトナムに安南都護府を設け、南海交易の基地とした。

唐の支配がおとろえると、北部ベトナムでも自立の動きがすすみ、11世紀はじめに李朝が成立して（ g ）国と号した。このころには華南の諸港から出港して直接ベトナム中部沿岸の（ h ）王国の港へ向かうルートが主要航路となっていたため、北部ベトナムは国際交易から切りはなされた。このため李朝は農業を重視する中国文化の受容につとめて国家建設をすすめ、農業生産の拡大につとめた。李朝にかわった陳朝の時代には、三度にわたる元の侵攻を撃退する一方、漢字にもとづく独自の文字が作られ、中国文化を摂取しつつも、中国とは異なる独自の文化が形成された。

15世紀はじめ、ベトナム北部は明に一時併合されたが、（ i ）のもとで明から自立し、（ g ）の国号を用いた。（ i ）は儒教や官僚制にもとづく中国的な国家体制を整える一方、南進して（ h ）を圧迫したが、16世紀になると政治勢力が南北に分裂し、その支配も名目的なものとなっていった。

設問1 空欄（ a ）～（ i ）に入るもっとも適切な語を下の【語群】から選び、解答欄Ⅱ-Aに番号で答えなさい。

【語群】

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. アッバース朝 | 2. 越南 | 3. オケオ |
| 4. オルメカ | 5. クシュ | 6. 阮朝 |
| 7. 後ウマイヤ | 8. 交趾 | 9. 胡朝 |
| 10. 真番 | 11. 真臘 | 12. 大越 |
| 13. 大理 | 14. チャンパー | 15. 銅権 |
| 16. 銅鼓 | 17. 銅量 | 18. 吐蕃 |
| 19. 敦煌 | 20. ドンソン | 21. 南越 |
| 22. 南詔 | 23. 日南 | 24. パガン朝 |
| 25. ファーティマ朝 | 26. 扶南 | 27. プワイフ朝 |
| 28. 渤海 | 29. マラッカ | 30. 楽浪 |
| 31. 臨屯 | 32. 黎朝 | |

設問2 空欄 ・ ・ について、以下の(1)~(3)の問題に答えなさい。

- (1) 空欄 には、紀元前後にはすでに機能しはじめており、地中海から東アジア海域までを結ぶ海上交易ルートを総称する語が入る。適切な語を解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。
- (2) 空欄 には、港の機能を中心に形成された都市を基盤とし、中継貿易や内陸からの物産の輸出によって繁栄した国家ないしその連合体を総称する語が入る。適切な語を解答欄Ⅱ-Bに漢字4文字で記入しなさい。
- (3) 空欄 には、前近代の中国で海上貿易を管理し、宋代になると広州にくわえて泉州や明州（現在の寧波）などにもおかれるようになった官庁名が入る。適切な語を解答欄Ⅱ-Bに漢字で記入しなさい。

設問3 下線部(1)に関連して、中国の青銅器・青銅貨幣について述べた以下のa~dには、波線部に誤りをふくむものがある。それぞれの正誤を判断し、正しいものがいくつあるかを答えなさい。正しいものが1~4の場合はそれぞれ数字1~4を、正しいものがない場合は数字5を、解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

- a. 殷では、青銅器を祭器として用いた。
- b. 殷と同時代に作られた青銅器は長江流域や四川盆地では出土せず、青銅器文化の広がりは殷墟周辺のみに限られていた。
- c. 刀貨（刀銭）・布貨（布銭）など、周が鎬京に都をおいていた戦国時代の青銅貨幣は、この時代の貨幣経済の発達を示している。
- d. 秦の始皇帝は統一貨幣として青銅貨幣の半両銭を通用させた。

設問4 下線部(2)に関連して、下のX～Zの反乱の名称と(あ)～(う)の説明文を組み合わせた1～9のうち、秦が滅亡するきっかけとなった農民反乱とその説明として正しいものを1つ選び、解答欄Ⅱ-Aに番号で答えなさい。

X. 黄巾の乱 Y. 赤眉の乱 Z. 陳勝・呉広の乱

(あ) 塩の密売人であった人物が主導したこの反乱は、経済の中心地であった華中・華南におよぶ農民の大反乱へと発展した。

(い) この反乱の主導者が残したとされる「王侯将相いずくんぞ種あらんや」という言葉は、当時の実力主義の風潮をよく表している。

(う) 道教思想の流れをくむ宗教結社の指導者であった人物が、華北で農民を組織しておこした反乱である。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. X—(あ) | 2. X—(い) | 3. X—(う) |
| 4. Y—(あ) | 5. Y—(い) | 6. Y—(う) |
| 7. Z—(あ) | 8. Z—(い) | 9. Z—(う) |

設問5 下線部(3)に関連して、ベトナムでも取り入れられた中国の官僚登用制度は下のX～Zのうちどれか。また、その制度を中国で導入した皇帝は本文中の波線部(ア)～(ウ)のうちの誰か。正しい組み合わせを下の1～9から1つ選び、解答欄Ⅱ-Aに番号で答えなさい。

X. 郷挙里選 Y. 九品中正 (九品官人法)

Z. 科挙

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. X—(ア) | 2. X—(イ) | 3. X—(ウ) |
| 4. Y—(ア) | 5. Y—(イ) | 6. Y—(ウ) |
| 7. Z—(ア) | 8. Z—(イ) | 9. Z—(ウ) |

設問 6 下線部(4)に関連して、唐代中期以降、五代十国を経て宋代に至るまでの時期における中国経済・社会の変化について述べた以下の a～d には、波線部に誤りをふくむものがある。それぞれの正誤を判断し、正しいものがいくつあるかを答えなさい。1～4 個の場合はそれぞれ数字 1～4 を、正しいものがない場合は数字 5 を、解答欄Ⅱ-A に記入しなさい。

- a. 貨幣経済の発展にともなって農民の貧富の差が拡大したため、唐は土地や財産の多少に応じて課税する両税法に切り替えた。
- b. 唐末から五代十国時代の戦乱のなかで、魏晋南北朝以来の門閥貴族は莊園を拡大して経済力をのばし、宋代に形勢戸と称されるようになった。
- c. 商品流通の活発化を受けて、五代・宋の諸王朝は大運河と長江の接点にあたる開封に都をおいた。
- d. ベトナム地方からの占城稻の導入や農業技術の改良によって、宋代には「湖広熟すれば天下足る」といわれたように長江中流域が主要な穀倉地帯となった。

設問 7 下線部(5)に関連して、日本の遣唐使に随行する留学生として入唐し、唐で安南節度使などの高官に任用され、安南都護府にも在職したことのある人物の名を解答欄Ⅱ-B に漢字で記入しなさい。

設問 8 下線部(6)に関連して、9～10世紀ごろから南・東シナ海方面における中国商人の海上交易活動が活発になるが、彼らがおもに利用した中国式の外洋船は何とよばれるか。以下の 1～4 から 1 つ選び、解答欄Ⅱ-A に番号で答えなさい。

1. ガレオン船
2. 三段櫂船
3. ジャンク船
4. ダウ船

設問9 下線部(7)に関連して、以下の(1)(2)の問題に答えなさい。

(1) ここにいう「漢字にもとづく独自の文字」は何とよばれるか。解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。

(2) (1)の文字のように、10～13世紀にかけての時期には中国周辺の諸地域で独自の文字文化がみられるようになるが、この時期に作られた文字ではないものを以下の1～4から1つ選び、解答欄Ⅱ-Aに番号で答えなさい。

1. 仮名文字
2. 女真文字
3. 西夏文字
4. 満洲（満州）文字

設問10 下線部(8)に関連して、ベトナムを併合したときの皇帝が在位していた時代における明朝の出来事として正しいものを以下の1～4から1つ選び、解答欄Ⅱ-Aに番号で答えなさい。

1. 民間の海上貿易を厳禁する海禁の制度を創始した。
2. 皇帝がみずから軍を率いてモンゴル高原へ遠征した。
3. ポルトガル人に対し、マカオへの居住権を認めた。
4. 豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して、朝鮮に援軍を派遣した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

(50点)

18世紀後半に起きたアメリカ独立戦争およびフランス革命を通じて、人間は法の下に平等であるという意識や思想が発展した。1776年7月4日に13植民地の代表が〔ア〕で発表した独立宣言は、自由・平等を人間が生まれながらにもっている権利とみなした。続けて1789年8月26日、フランスの議会在採択した(あ)は、すべての人間の自由・平等、主権在民、言論の自由、私有財産の不可侵など、近代市民社会の原理を主張するものであった。以上の二つの宣言で、身分による格差や特権は否定されたものの、肌の色や性別、思想信条による差別が批判され、是正されるのには長い時間を要している。

植民地支配のもとにあったラテンアメリカでは、アメリカ合衆国の独立やフランス革命の影響を受けて、18世紀末から独立運動がはじまった。まず、カリブ海のフランス領サン＝ドマングで、黒人奴隷たちが(い)を指導者として蜂起した。(い)自身はナポレオン軍に捕えられて獄死したが、1804年に史上はじめての黒人共和国である(う)が誕生した。しかしながら、黒人は19世紀後半まで、アメリカ合衆国南部やカリブ海のプランテーションで奴隷労働力として利用されていた。^(a)

19世紀後半には、各国で女性参政権を目指す組織が誕生し、〔イ〕(1893年)、オーストラリア(1902年)、フィンランド(1906年)では早くも女性参政権が実現した。この時期、家庭外で働く女性が増加し、これまで有産市民層出身の少数の女性によって担われてきた女性参政権運動に加わったのである。第一次世界大戦期には、出征した成年男性にかわり、女性は傷病兵の救護だけでなく、軍需工場その他、男性がこれまで働いていた官庁や運輸業にも動員されるようになった。参戦した各国の政府は、戦後に諸改革を実現すると約束しつつ、統制をいっそう強めることで挙国一致体制の継続をはかったが、戦争の長期化によって事態は悪化した。^(b)そこで民衆は、総力戦のために払った犠牲への見返りを要求するようになったのである。そして、ソヴィエト＝ロシア(1917年)、〔ウ〕(30歳以上の女性)(1918年)、〔エ〕(1919年)、アメリカ合衆国(1920年)、トルコ(1934年)など多くの国々で女性参政権が認められた。日本ではイタリア

と同様に1945年に女性参政権が実現した。州レベルで一部、直接民主制が採用されている にいたっては、連邦レベルでのその実現は1971年のことであった。

20世紀後半には人間の平等を目指す思想と運動がますます強くなっている。多数派人種・民族集団に対するマイノリティ（少数派）の主張も目立つようになった。アメリカ合衆国南部で残っていた黒人を差別する法律の撤廃を求める 運動が（え）の指導のもとで支持者を増やし、 法の成立に結実した。（え）は、奴隷解放宣言100年の 年8月、20万人以上が参加した 大行進を指導し、集まった大群衆を前にして「私には夢がある」というフレーズで知られる演説を行った。

1980年代以降、^(c)南部アフリカで長年続いた白人少数支配体制が消滅した。南アフリカは第二次世界大戦後、多数派の黒人を隔離する差別的な（お）政策を導入していたが、反人種主義とアフリカ人の権利擁護を目的に組織されたアフリカ民族会議の抵抗や国際連合の経済制裁をうけた結果、1980年代末に白人のデクラーク政権は（お）政策の見直しを始めた。1991年に差別法を全廃し、1994年には黒人にも平等な選挙権を認めた結果、アフリカ民族会議が過半数を制して、その指導者である（か）が大統領に当選した。

近年でも、マイノリティの主張がときに摩擦や暴動に発展するという例がある。例えば、 議会は2004年3月、ムスリム女生徒のスカーフ着用を禁止する法律を可決した。これは、^(d)第三共和政時代の1905年に成立した 法にもとづく考え方によるもので、その是非をめぐる議論は現在も続いている。

設問1 空欄(あ)~(か)に入る適切な語句を解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

設問2 空欄(ア)～(ロ)に入る適切な語句を、下の語群より選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. イギリス | 2. カトリック教徒解放 | 3. カナダ |
| 4. ギリシア | 5. ゲティスバーグ | 6. 公民権 |
| 7. 財産権 | 8. シカゴ | 9. 社会主義者鎮圧 |
| 10. スイス | 11. スペイン | 12. 政教分離 |
| 13. 生存権 | 14. 選挙権 | 15. チュニジア |
| 16. ドイツ | 17. ナイジェリア | 18. ニュージーランド |
| 19. ニューヨーク | 20. ノルウェー | 21. パリ |
| 22. フィラデルフィア | 23. フランス | 24. ベルギー |
| 25. ボストン | 26. ホームステッド | 27. モザンビーク |
| 28. ヨークタウン | 29. ワシントン | 30. 1961 |
| 31. 1962 | 32. 1963 | |

設問3 下線部(a)~(d)について、(i)(ii)とも正しければ数字1を、(i)のみ正しければ数字2を、(ii)のみ正しければ数字3を、(i)(ii)とも正しくなければ数字4を選び、その番号を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

(a)

- (i) ヨーロッパ向けに綿花・茶・タバコが生産されるようになった。
- (ii) 労働力として大量の黒人が主に西アフリカから輸入され、奴隷として利用された。

(b)

- (i) 1917年3月8日に、食糧と平和を求める民衆の大規模なデモやストライキがロシアの首都ペトログラードで起こった。
- (ii) 1918年11月3日に、戦争継続に反対する兵士がドイツの首都ベルリンで反乱を起こし、革命運動が全国に広がった。

(c)

- (i) イギリスは、フランス系移民ブール人が建てたトランスヴァール共和国とオレンジ自由国を併合した。
- (ii) 1910年に南アフリカ連邦がイギリス帝国内の自治領になった。

(d)

- (i) ドイツへの報復を主張する軍人ドレフュスによるクーデター計画が発覚した。
- (ii) 議会での話し合いを通して労働問題を解決しようとするサンディカルリズムが現れた。